

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入し べル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
1	Title	タイトル	dc:title		TRUE	M	1-N	コンテンツのタイトル、論文の場合、論題である。コンテンツ本文と同一言語のタイトル情報は必ず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	タイトルの情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返し記入する。ただし、各言語コード<dc:title>の出現回数は1回までとする。優先度の高い言語表記の順に記入する。目次タイトル、奥付タイトル等がある場合は、dcterms:alternative（その他のタイトル）に記入する。コンテンツが図表の一部（表など）である場合、dc:title（タイトル）には章などのタイトルを記入し、図表全体のタイトルはjpcoar:relation（関連）に記入する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Latin"とする。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:lang="Ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="Ja">情報開発時代の研究基盤構想</dc:title><dc:title xml:lang="Ja-Kana">ショウホウ / クンキョウ キバン コソソウ</dc:title><dc:title xml:lang="Ja-Latin">sho hokusho (jida no kenkyu kiban koso)</dc:title><dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title><dc:title xml:lang="zh-cn">“知東”句的反事表述及浅析</dc:title>	xml:langの指定がない記入は推奨しない、<dc:title>情報開発時代の研究基盤構想</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない、<dc:title xml:lang="Jsen">情報開発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録物名を含めることは推奨しない、収録物名はjpcoar:sourceTitle（収録物名）を使用する、<dc:title xml:lang="ja">NIHの調査(日本病院会雑誌) 将一直接指定の要素を繰り返し記入はならない、<dc:title xml:lang="Ja">情報開発時代の研究基盤構想</dc:title><dc:title xml:lang="Ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>	title	xml:lang属性は切り捨てる	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	③要素がない、 ④xml:langが重複している、(xml:langがない場合も含む) ③xml:lang="Ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、 ④xml:lang="Ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、	③xml:langが語彙に存在しない、(xml:lang属性のみ非登録になる)	③xml:langが存在しない、 ④1項目のデータxml:langが13 dc:language と異なる、(コードの違いを考慮)	
2	Alternative Title	その他のタイトル	dcterms:alternative		TRUE	MA	0-N	目次タイトル、奥付タイトル等の本タイトル以外のタイトルを記入する。	その他のタイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返し記入する。各言語コード<dc:terms:alternative>の出現回数は1回までとする。複数回繰り返して記入してよい。本タイトルの別言語のタイトルはdc:title（タイトル）に記入する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Latin"とする。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:lang="Ja"の情報を必ず記入する。	<dcterms:alternative xml:lang="Ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dcterms:alternative><dcterms:alternative xml:lang="Ja-Kana">データ マイニング シセダイサーチ ナド クンキョウ</dcterms:alternative><dcterms:alternative>	dcterms:alternative xml:lang="Jsen">情報開発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dcterms:alternative><dcterms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない、収録物名はjpcoar:sourceTitle（収録物名）を使用する、<dcterms:alternative xml:lang="Ja">NIHの調査(日本病院会雑誌)</dcterms:alternative>	title	xml:lang属性は切り捨てる、	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	③xml:lang="Ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、 ③xml:lang="Ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、 ④xml:langが語彙に存在しない、(xml:lang属性のみ非登録になる)	③xml:langが存在しない、		
3	Creator	作成者	jpcoar:creator		FALSE	MA	0-N	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等、creatorTypeにはコンテンツの作成に直接的に関与を持つものの役割を簡単に記入する。	字位論文の場合は必ず入力する。複数の著者が存在する場合は、第1著者から順に記入する。コンテンツの作成に直接的に関与した者を作成者、間接的に関与した者を寄与者として明確に区別し、寄与者の役割であるcontributorTypeの役割語に該当する役割を持つ者は寄与者として記入する。	<jpcoar:creator creatorType="著"><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:creatorName xml:lang="Ja">夏目、東石</jpcoar:creatorName><jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName><jpcoar:creatorName xml:lang="Ja-Kana">ナツメ、ソウセキ</jpcoar:creatorName><jpcoar:familyName xml:lang="Ja">夏目</jpcoar:familyName><jpcoar:givenName xml:lang="Ja">東石</jpcoar:givenName><jpcoar:creatorAlternative xml:lang="Ja">夏目、金之助</jpcoar:creatorAlternative><jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnoosuke</jpcoar:creatorAlternative><jpcoar:creatorAlternative xml:lang="Ja-Kana">ナツメ、キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative><jpcoar:affiliation><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName></jpcoar:creator>		-	-	①14 dc:title=thesis[bachelor thesis/master thesis/doctoral thesis のとき、要素が存在しない、					
3.1	Creator Name Identifier	作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	作成者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000-0001-0003-0004（ORCID）、30413925（e-Rad_Researcher）、000000378057894（ISNI））、nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマを以下の役割語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID - ROR、	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマを指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0000-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad_Researcher NRID（非推奨） ORCID ISNI VIAF AID kakenhi（非推奨） Ringgold GRID（非推奨） ROR	creator		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①nameIdentifierSchemeが存在しない、 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない、 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない、（語彙別表参照）	①nameIdentifierScheme="NRID[kakenhi GRID]"が指定されている、		
			nameIdentife rScheme		FALSE	M	1	nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/（NRID）https://orcid.org/0000-0001-0002-0003（ORCID）https://isni.org/isni/0000000082849737（ISNI）https://viaf.org/viaf/56614190（VIAF））。			-	-	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		③URI形式チェック、 ④語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）				
			nameIdentife rURI		FALSE	MA	0-1				-	-	①全角 -> 半角						
3.2	Creator Name	作成者姓名	jpcoar:creatorName		TRUE	MA	0-N	作成者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓.△名」（カンマ+半角空白）とする。英語表記のフーストネームが不明な場合は記すてまい。ミドルネームがある場合は、「姓.△ミドルネーム.△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:creatorNameの出現回数は1回までとする。前置きや後置、補記は記入しない、記述者や指導者のような関係的役割語のjpcoar:contributor（寄与者）を使用する。出版者はdc:publisher（出版者）を使用する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Latin"とする。	langの指定がない記入は推奨しない、<jpcoar:creatorName>夏目、東石</jpcoar:creatorName><jpcoar:creatorName xml:lang="Ja">夏目、東石</jpcoar:creatorName><jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName><jpcoar:creatorName xml:lang="Ja-Kana">ナツメ、ソウセキ</jpcoar:creatorName>		creator	xml:lang属性は切り捨てる、	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	③xml:langが重複している、 ③xml:lang="Ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、 ③xml:lang="Ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、 ④xml:langが語彙に存在しない、(xml:lang属性のみ非登録になる)	③xml:langが存在しない、		
			nameType		FALSE	R	0-1	名前の種別を記入する。姓名に機関名を記入する際は「organizational（組織）」を選択する。			Organizational Personal	-	-						
3.3	Family Name	作成者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	作成者の姓を記入する。作成者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない、団体名は記入しない、	<jpcoar:familyName xml:lang="Ja">夏目</jpcoar:familyName>		-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	③xml:langが重複している、 ③xml:lang="Ja-Kana"である、 ③xml:lang="Ja-Latin"である、 ④xml:langが語彙に存在しない、(xml:lang属性のみ非登録になる)	①familyNameがあって、creatorNameがない、		
3.4	Given Name	作成者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム.△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない、団体名は記入しない、	<jpcoar:givenName xml:lang="Ja">東石</jpcoar:givenName>		-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	③xml:langが重複している、 ③xml:lang="Ja-Kana"である、 ③xml:lang="Ja-Latin"である、 ④xml:langが語彙に存在しない、(xml:lang属性のみ非登録になる)	①givenNameがあって、creatorNameがない、		
3.5	Creator Alternative	作成者別名	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	O	0-N	作成者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法はおよび注意点①jpcoar:creatorName（作成者姓名）に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可とする。	片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="Ja-Latin"とする。	<jpcoar:creatorAlternative xml:lang="Ja">夏目、金之助</jpcoar:creatorAlternative><jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnoosuke</jpcoar:creatorAlternative><jpcoar:creatorAlternative xml:lang="Ja-Kana">ナツメ、キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative>				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	③xml:lang="Ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、 ③xml:lang="Ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="Ja"のデータが存在しない、 ④xml:langが語彙に存在しない、(xml:lang属性のみ非登録になる)	③creatorAlternativeがあって、creatorNameがない、		
3.6	Affiliation	作成者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	作成者の所属する機関名。		<jpcoar:affiliation><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdent ifer><jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName></jpcoar:affiliation>		-							
3.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：000000012192178X（ISNI）https://orcid.org/057a7a3y96（ROR））、nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を役割語彙から選択して記入する。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマを指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdent ifer>	kakenhi（非推奨） ISNI Ringgold GRID（非推奨） ROR	-	-	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①nameIdentifierSchemeが存在しない、 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない、 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない、（語彙別表参照）	①nameIdentifierScheme="Takenhi GRID"が指定されている、		
			nameIdentife rScheme		FALSE	M	1	IDを識別するスキーマ名を役割語彙から選択して記入する。（例：https://isni.org/isni/0000000121691048、（ISNI）https://ror.org/057a7a3y96（ROR））で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない、			-	-	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		③URI形式チェック、 ④語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）				
			nameIdentife rURI		FALSE	R	0-1				-	-	①全角 -> 半角						
3.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部門名など下位組織の所属名は記入しない、当該コンテンツが作成された時点の所属機関名を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返し記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>		-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	③xml:langが重複している、 ③xml:langが語彙に存在しない、(xml:lang属性のみ非登録になる)			

IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

No	項目名 (日本語)	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰り返し 回数	説明	注重点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
4	Contributor	寄与者	jpcoar:contributor	contributorType	FALSE	R	0-N	コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または団体。 contributorTypeには適切な役職を以下の統制語彙から選択して記入する。該当する役職がない場合は、“other”を選択する。 - ContactPerson - DataCollector - DataCuration - DataManager - Distributor - Editor - HostingInstitution - Producer - ProjectLeader - ProjectManager - ProjectMember - RelatedPerson - Researcher - ResearchGroup - Sponsor - Supervisor - WorkPackageLeader - Other		<jpcoar:contributor contributorType="Contact"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID"> nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:contributor>	ContactPerson DataCollector DataCuration DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectMember RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor WorkPackageLeader Other	-				①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①語彙に存在しない。		
4.1	Contributor Name Identifier	寄与者識別子	jpcoar:nameIdentifier	nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	寄与者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) , 30413925 (e-Rad_Researchers), 0000000378057894 (ISNI)) 。 nameIdentifierScheme にIDを識別するスキーマを統制語彙から選択して記入する。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRIID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は統制語等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID"> nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier>https://orcid.org/0000-0001-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad_Researcher NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakenhi (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR	contributor			①全角 -> 半角	①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照)	①nameIdentifierScheme="NRID kakenhi GRID"が指定されている。	
4.2	Contributor Name	寄与者姓名	jpcoar:contributorName	nameType	FALSE	R	0-1	寄与者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記のファーストネームが分らない場合は△で区切る。ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と記入する。 各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回までとする。前置きや後置、補記は記入しない。著書や翻訳等のような創作的な役割の者jpcoar:creator (作成者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版者) を使用する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報xml:lang="ja-Latin"とする。	各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回までとする。前置きや後置、補記は記入しない。著書や翻訳等のような創作的な役割の者jpcoar:creator (作成者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版者) を使用する。片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報xml:lang="ja-Latin"とする。	<jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:contributorName>山田, 一郎</jpcoar:contributorName>	contributor	xml:lang属性は切り捨てて。	①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:lang が存在しない。			
4.3	Family Name	寄与者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	寄与者の姓を記入する。寄与者が個人であり、姓が判別可能な場合のみ記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName>		-					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①familyNameがあって、contributorNameがない。
4.4	Given Name	寄与者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	寄与者の名を記入する。寄与者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName>		-					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①givenNameがあって、contributorNameがない。
4.5	Contributor Alternative	寄与者別名	jpcoar:contributorAlternative		TRUE	O	0-N	寄与者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注重点はjpcoar:contributorName (寄与者姓名) に準じる。各言語の出現回数は1回に限りず、複数記入可能とする。	片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Latin"とする。			-					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①contributorAlternativeがあって、contributorNameがない。
4.6	Affiliation	寄与者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	寄与者の所属機関。		<jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID"> nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>		-							
4.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier	nameIdentifierScheme	-	M	1	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 000000012192178X (ISNI) , https://ror.org/057zh3y96 (ROR)) 。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi (非推奨) - ISNI - Ringgold - GRID (非推奨) - ROR, nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式 (例: https://isni.org/isni/0000000121691048 (ISNI) https://ror.org/057zh3y96 (ROR))で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。	jpcoar:nameIdentifierの値は統制語等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:nameIdentifier>	kakenhi (非推奨) ISNI Ringgold GRID (非推奨) ROR	-				①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照)	③nameIdentifierScheme="kakenhi GRID"が指定されている。	
4.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:lang=を記入する。 名称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局など下位組織の情報は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数語彙ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>		-					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)
5	Access Rights	アクセス権	dc:terms:accessRights	rdf:resource	FALSE	MA	0-1	コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバーゴ権 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限資料。	コンテンツのライセンスに関する情報はdc:rights (権利情報) を参照する。「embargoed access」の場合は、datecite										
6	Rights	権利情報	dc:rights	rdf:resource	TRUE	R	0-N	コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的所有権や著作権等に関する情報を含む。ライセンス情報を記入する際にはライセンスの正式名とバージョン情報を記入する (例: Creative Commons Attribution 4.0 International) 。その他の場合は、自由記述とするが、出典元等の権利情報からの転記がある場合は、その指示に従う。ライセンスにURIがある場合、rdf:resource<HTTP URI形式>で記入し、再利用の条件を明示することを推奨する (例: https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en) 。	ライセンス情報は短期間で記入しない。各言語コードのdc:rightsの出典回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:rights xml:lang="en"> rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://dx.doi.org/10.1145/123456789</dc:rights>	ライセンス情報は短期間で記入しない。 <dc:rights xml:lang="en"> rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">CC BY 4.0</dc:rights> 異なるライセンス情報を重複して入力して記入しない。ファイル単位でライセンス情報が異なる場合は、別途メタデータレコードを作成する。ファイルの分割が困難な場合は、dc:rightsを繰り返して記入する。 <dc:rights xml:lang="en">CC BY 4.0 / Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights>	rights	-			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①全角 -> 半角

IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
7	Rights Holder	権利者情報	jpcoar:rightsHolder		-	R	0-N	作成者および著作者以外の著作権等の権利保持情報を記入する。		<jpcoar:rightsHolder> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="https://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName></jpcoar:rightsHolder>		rights	xml:lang属性は切り捨てる。								
7.1	Rights Holder Name Identifier	権利者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	権利者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 、 30413925 (e-Rad) 、 0000000378057894 (ISND)) 。 nameIdentifierScheme に はID を識別するスキーマ名を以下の規則語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。 jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ず nameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad_Researcher NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakenhi (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR	-		①全角 -> 半角				①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照)		
			nameIdentifierScheme		FALSE	M	1	nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) 。				-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換							
			nameIdentifierURI		FALSE	R	0-1					-		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。 (語彙別表参照)				
7.2	Rights Holder Name	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	0-N	記述方法はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。		<jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName>		-			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①語彙コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:lang が存在しない。 ②xml:lang="ja-Latin"のデータが存在する とき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない。		
8	Subject	主題	jpcoar:subject			TRUE	MA	0-N	并列名ヨミ記入の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ジョウホウカ シャカイ</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 作目の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/01009109">社会情勢</jpcoar:subject>	分類の項目名は記入しない。 著者キーワードの場合 - BSH - DDC - e-Rad_field - LCC - LCSH - MESH NDC - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other。	研究データの分野が「人文・社会」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">人文・社会</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Humanities & Social Sciences</jpcoar:subject> 研究データの分野が「自然科学一般」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">自然科学一般</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Natural Science</jpcoar:subject>		BSH DDC e-Rad_field JEL LCC LCSH MESH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC Other	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる) ②subjectSchemeが存在しない。 ③subjectSchemeが語彙に存在しない。 ④subjectSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照)	
			subjectScheme		FALSE	M	1	subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない (例: https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/bunya_bunya.csv https://id.ndl.go.jp/auth/ndish/00575529) 。				-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)							
			subjectURI		FALSE	MA	0-1					-		①全角 -> 半角							
9	Description	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	0-N		datacite:descriptionを使用する場合、必ずdescriptionTypeを指定する。各言語コードのdatacite:descriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「利用リポジトリサービス」 JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。 JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。 JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。 </datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 寛士, 高橋 菜赤子, 山崎 一純, システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究, 2016, vol.103, p.9-15.	descriptionTypeを省略してはならない。 <datacite:description xml:lang="ja">国立情報学研究所が提供する「利用リポジトリサービス」 JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。 JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。 JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。 </datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 寛士, 高橋 菜赤子, 山崎 一純, システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究, 2016, vol.103, p.9-15.		description	xml:lang属性は切り捨てる。		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①語彙コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる) ②descriptionTypeが存在しない。 ③descriptionTypeの語彙に存在しない。		
			descriptionType		FALSE	M	1	コンテンツの内容を表示情報を記述する。データについては、技術的な情報等、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。 descriptionTypeには以下の規則語彙から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other				-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)							
10	Publisher	出版者	dc:publisher		TRUE	R	0-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体を記入する。名称が複数言語ある場合は、 jpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのdc:publisherの場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。個人名については「姓,氏名」とする。前書きは記入しない。	名称が複数言語ある場合は、 コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのdc:publisherの場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。個人名については「姓,氏名」とする。前書きは記入しない。	<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>		publisher	xml:lang属性は切り捨てる。		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①語彙コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
11	Publisher Information	出版者情報	jpcoar:publisher		-	O	0-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体に関する情報を記入する。	名称が複数言語ある場合は、 コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。	<jpcoar:publisher> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">科学出版</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">目録</jpcoar:publisherDescription> <dcndi:location xml:lang="ja">東京</dcndi:location> <dcndi:publicationPlace>JPN</dcndi:publicationPlace> </jpcoar:publisher>		-									
11.1	Publisher Name	出版者名	jpcoar:publisherName		TRUE	O	0-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体を記入する。 個人名の姓名の区切りは「姓,氏名」 (カンマ+半角空白) とする。前書きは記入しない。	略称ではなく正式名称を記入する。 作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。 後継者の機動的な情報はjpcoar:publisherDescriptionに記入する。 jpcoar:publisherDescription, dcndi:location, dcndi:publicationPlaceを記入する場合は、 本項目を入力することを推奨する。	<jpcoar:publisherName xml:lang="en">Elsevier</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">日本建築学会</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">日本物理学会</jpcoar:publisherName>		-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①語彙コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
11.2	Publisher Description	出版者記	jpcoar:publisherDescription		TRUE	O	0-N	コンテンツの出版者に関して、付記事項がある場合に記入する。	各言語コードのjpcoar:publisherDescriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">印刷</jpcoar:publisherDescription> <jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">田・五編</jpcoar:publisherDescription>		-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①語彙コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
11.3	Publication Place	出版地	dcndi:location		TRUE	O	0-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を記述する場合に使用する。	国名コードはdcndi:publicationPlaceに記入する。 各言語コードのdcndi:locationの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcndi:location xml:lang="ja">東京</dcndi:location>		-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①語彙コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
11.4	Publication Place (Country code)	出版地 (国名コード)	dcndi:publicationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を国名コードを記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。 言語コードを記入しない。 出版地に關する国名コード以外の情報はdcndi:locationに記入する。	<dcndi:publicationPlace>JPN</dcndi:publicationPlace>		-		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字			①語彙に存在しない。				

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧														正規化		エラーチェック			
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
12	Date	日付	datecite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formats で規定する形式 (YYYY, YYYY-MM, YYYY-MM-DD, YYYY-MM-DDThh:mmTZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssTZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sTZD) で記入し、日付の範囲はRKMS-ISO8601で規定する形式で記入する。dateTypeは以下の統制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	Issued (発行日) がある場合は記入必須。その他の日付は関連する情報があれば必ず記入する。dcterms:accessRights (アクセス権) で "embargoed access"を指定した場合、dateTypeに "Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datecite:date dateType="Issued">2015-10-01</datecite:date> エンバーゴ終了後の利用開始日 <datecite:date dateType="Available">2016-01-01</datecite:date> 日付の範囲がある場合 <datecite:date dateType="Collected">2004-03-02/2005-06-02</datecite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datecite:date>2015-10-01</datecite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datecite:date dateType="Issued">19--</datecite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	date		①全角 -> 半角	①日付の正規化	①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③W3C Date and Time Formats, RKMS-ISO8601で規定される形式であるかのチェック。 ④MM-DDの妥当性チェック。(周年含む)		
			dateType	FALSE	M	1			日付の年号表示 <dcterms:date xml:lang="zh-tw">第17</dcterms:date> 日付の範囲の年号表示 <dcterms:date xml:lang="ja">宝暦年間</dcterms:date> 干支等による表示 <dcterms:date xml:lang="ja">寛政壬子</dcterms:date> 不明な年 <dcterms:date>19--</dcterms:date>				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
13	Date Literal	日付 (リテラル)	dcterms:date		TRUE	O	0-N	コンテンツの作成、発行等のライフサイクルに関連する日付をリテラルで記入する。 datecite:date (日付) には、統制された方法により記録された日付情報を記入する。本項目では、統制された方法で記入することができない情報をリテラルに記入し、補完することができる。	西暦紀元はdatecite:date (日付) に記入する。 不明な日付を除き、datecite:date (日付) の記入を併せて行うことを推奨する。 コンテンツの内容に関する時間的範囲は、dcterms:temporal (時間的範囲) に記入する。	日付の範囲の年号表示 <dcterms:date xml:lang="ja">享和3 (1893)</dcterms:date>	西暦紀元を補記する。 <dcterms:date xml:lang="ja">享和3 (1893)</dcterms:date>	-		①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)		
14	Language	言語	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられる主な言語を記入する。ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い言語の順に記入する。	コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language> コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language>	ISO 639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dc:language>engjpn</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language>e n g</dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>	language		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換		①語彙に存在しない。		
15	Resource Type	資源タイプ	dc:type		FALSE	M	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙別表から選択して記入する。rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Resource Type (https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/) のURIを記入する。	departmental bulletin paper (紀要論文) およびarticle (記事) は、journal article (学術雑誌論文) のURIを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departmental bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db01">dataset</dc:type> 記事の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</dc:type>	rdf:resourceを省略してはならない。 <dc:type>departmental bulletin paper</dc:type>	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①要素がない。 ②語彙に存在しない。(資源タイプ語彙別表参照) ③doctoral thesisのとき、NDL博士論文提出チェック(別掲)			
			rdf:resource	FALSE			-						③語彙に対応したURIを出力 (資源タイプ語彙別表参照)						
16	Version	バージョン情報	datecite:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"+"マイナーバージョン番号"の形式で記入することが望ましい。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に旧バージョンとの関係性を記述する。論文のバージョン情報についてはoaire:version (出版タイプ) を使用する。	<datecite:version>1.2</datecite:version>	バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。 <datecite:version>ver 1.2</datecite:version>	-		①全角 -> 半角		①と次のいずれかを満たさないものはエラーになる。 ①{(0-9)+-(0-9)+}の形式 ([(数字][ゼロ][ドット][数字]) ②{(0-9)+}の形式 ((数字)のみ)			
17	Version Type	出版タイプ	oaire:version		FALSE	MA	0-1	論文のバージョン情報を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - AO: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VoR: Version of Record - CVoR: Corrected Version of Record - EVoR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown) rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR VersionのURIを記入する。	論文の場合、必ず記入する。データのバージョン情報についてはdatecite:version (バージョン情報) を使用する。	著者最終稿 (査読後、最終的に出版社に受理された原稿) の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4af688f83e57aa">AM</oaire:version> 出版校閲版の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970fb484fd8ba85">VoR</oaire:version>	AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①dc:type=journal articleのとき、oaire:versionが指定されていない。			
			rdf:resource	FALSE	M	1	-						③語彙に対応したURIを出力 (語彙別表参照)						
18	Identifier	識別子	jpcoar:identifier		FALSE	M	1-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.18926/AMO/54599 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL) http://ousarib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 (URI)) , identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - DOI - HDL - URI	リポジトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版校閲版のDOIはjpcoar:relation (関連情報) に記入する。JalC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifierRegistration (ID登録、ID識別) に登録するDOIを"prefix/suffix"形式で記入する。datecite:identifierを記入する際には必ずidentifierTypeを指定する。	<jpcoar:identifier identifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcoar:identifier>				①全角 -> 半角		①要素がない。 ②identifierTypeが存在しない。 ③identifierTypeが語彙に存在しない。 ④URI形式チェック ⑤jpcoar:identifierRegistration があるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。		①jpcoar:identifier@identifierType="DOI"が存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]がjpcoar:identifierRegistrationに入力されていない。 (jpcoar:identifierRegistration要素がない場合も含む)	
			identifierType	FALSE	M	1				DOI HDL URI	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換						
19	Identifier Registration	ID登録	jpcoar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	JalC等へIDを登録する場合、記入する。identifierTypeには登録するサービス (DOIの場合はRegistration Agency) を以下の統制語彙から選択して記入する。 - JalC - Crossref - DataCite - PMID (現在不使用)	リポジトリコンテンツの自身のIDはjpcoar:identifier (識別子) に記入する。"JalC"または"Crossref"を選択した場合は、Juni2スキーマのselfDOIに相当する。JalCでDOIを登録する場合は、jpcoar:identifierRegistration (ID登録) だけでなく、jpcoar:identifier (識別子) identifierType="DOI"にDOIをHTTP URI形式で記入する。jpcoar:identifierRegistrationはJalCとのデータ連携のためのみに使用される。	<jpcoar:identifierRegistration identifierType="JalC">10.18926/AMO/54590</jpcoar:identifierRegistration>	URLスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JalC">info:doi/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration> DOIのURL表記は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JalC">https://doi.org/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration>			①全角 -> 半角 ②先頭の"info:doi/"、"doi:"は削除する。		①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙名のフォーマットを満たしていない (語彙別表参照)。 ④jpcoar:identifierRegistrationが存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]を持つDOIがjpcoar:identifier@identifierType="DOI"として入力されていること。 (identifierType="PMID"のときを除く) ⑤ identifierType="JalC/Crossref/DataCite"のとき、JalC DOI付与チェック (別掲)			
			identifierType	FALSE	M	1				JalC Crossref DataCite PMID (現在不使用)	-		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換						

JPCoARスキーマ ver2.0 項目一覧													正規化		エラーチェック					
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング	
22.3	Geo Location Place	位置情報 (自由記 述)	datacite:geoLocationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツが属する地理上の地点の名称を記入する。		<datacite:geoLocationPlace> Disko Bay</datacite:geoLocationPlace>			coverage							
23	Funding Reference	助成情報	jpcoar:fundingReference		-	MA	0-N	コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を 記入する。		<jpcoar:fundingReference> <jpcoar:funderIdentifier funderIdentifierType = "Crossref Funder"> https://doi.org/10.13039/501100000780 </jpcoar:funderIdentifier> <jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName> <jpcoar:awardNumber awardURI="http://cordis.europa.eu/project/cn/100603_en.html"> 284382 </jpcoar:awardNumber> <jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle> </jpcoar:fundingReference>		-						①jpcoar:funderNameが存在しない。		
23.1	Funder Identifier	助成機関識別子	jpcoar:funderIdentifier		FALSE	MA	0-1	助成主体の永続的な識別子をHTTP URI形式で記入する。 funderIdentifierTypeは統制語彙から選択して記入する。	Crossref Funder IDまたは資金配分機関コード (e-Rad_funder) の使用を推奨する。 Crossref Funder ID、e-Rad資金配分機関がない場合に限り、その 他の識別子を記入する。	<jpcoar:funderIdentifier funderIdentifierType = "Crossref Funder" SchemaURI="https://www.crossref.org/services/funder-registry"/> https://dx.doi.org/10.13039/501100002241<jpcoar:funderIdentifier>		Crossref Funder e-Rad_funder GRID (非推奨) ISNI ROR Other	-					①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字 ③語彙に合わせた大文字小文字の変換	①URI形式チェック。 ②funderIdentifierTypeが存在しない。 ③funderIdentifierTypeの語彙に存在しない。 ④語彙別のフォーマットを満たしていない。	
			funderIdentifi erType	FALSE	M	1	統制語彙 ・ Crossref Funder ・ e-Rad_funder ・ GRID ・ ISNI ・ ROR ・ Other	-										①funderIdentifierType="GRID"が指定 されている。		
			funderIdentifi erTypeURI	FALSE	MA	0-1		-											①URI形式チェック。	
23.2	Funder Name	助成機関名	jpcoar:funderName		TRUE	M	1-N	助成機関等、助成を行った主体の名称を記入する。	jpcoar:fundingReferenceを記入する場合は、必須。 各言語コードのjpcoar:funderNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName>		-						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)
23.3	Funding Stream Identifier	プログラム情報識 別子	jpcoar:fundingStreamIdentifier		FALSE	O	0-1													
			fundingStrea mIdentifierTy pe	FALSE	O	0-1	Crossref Funder Registryは、組織 (上位) > 組織 (下位) > プロ グラム情報>・・・のように階層化登録されているため、プログラ ム情報に該当する識別子を記入する。 (例) 文料番: http://dx.doi.org/10.13039/501100001700 > JST: https://doi.org/10.13039/501100002241 > ムーンショット型研究開発制度(JST): https://doi.org/10.13039/501100020963 (参考) 体系的番号 (https://www.nistep.go.jp/takei) の「機 関コード」と「施画・事業の特定コード」を合わせたもの (例、 科学技術振興機構 (JST) のムーンショット型研究開発事業は、機 関コードKJ、施画・事業の特定コードMSを合わせた「MJMS」を 入力する)	Crossref Funderの場合 <jpcoar:fundingStreamIdentifier fundingStreamIdentifierType="Crossref Funder"> https://doi.org/10.13039/501100020963 </jpcoar:fundingStreamIdentifier> 体系的番号におけるプログラム情報コードの場合 <jpcoar:fundingStreamIdentifier fundingStreamIdentifierType="JGN_fundingStream"> MJBF </jpcoar:fundingStreamIdentifier>	Crossref Funder - Crossref Funder Registryのプログラム情報識別子 (下 位) JGN_fundingStream	-				①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。			
			fundingStrea mIdentifierTy peURI	FALSE	O	0-1				Crossref Funder: https://www.crossref.org/services/f under-registry/	-								①URI形式チェック。	
23.4	Funding Stream	プログラム情報	jpcoar:fundingStream		TRUE	O	0-N	各資金配分機関内の助成カテゴリ (助成制度・事業等) の名称を記入す る。		<jpcoar:fundingStream xml:lang="ja">ムーンショット型研究開発事業</jpcoar:fundingStream>		-						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)
23.5	Award Number	研究課題番号	jpcoar:awardNumber		FALSE	MA	0-1	研究課題番号を文字列で記入する。記述方法は助成団体による (例: JP15H02781 (科研費))。awardURIは、助成団体が提供している当 該の助成に関する詳細情報をHTTP URI形式で記入する。科研費の場合 は、KAKENデータベースの該当するページのURLを記入する。		<jpcoar:awardNumber awardNumberType="JGN">JP15H02781</jpcoar:awardNumber>		-							①awardNumberType="JGN"の時、体系 的課題番号 (Japan Grant Number)の フォーマットを満たさない(語彙別表参 照)。	
			awardURI	FALSE	MA	0-1													①URI形式チェック。	
			awardNumber Type	FALSE	MA	0-1				JGN - 体系的番号 (Japan Grant Number)	-								①語彙に存在しない。	
23.6	Award Title	研究課題名	jpcoar:awardTitle		TRUE	MA	0-N	研究課題名を文字列で記入する。	各言語コードのjpcoar:awardTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:awardTitle xml:lang="en"> Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science </jpcoar:awardTitle>		-						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)
24	Source Identifier	収録物識別子	jpcoar:sourceIdentifier		FALSE	MA	0-N												①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマット を満たしていない (語彙別表参照)。	
			identifierType	FALSE	M	1	ISSN、NCIDがある場合は必ず記入する。収録物以外のNCIDは jpcoar:relatedIdentifier (関連識別子) を使用する。Juni2下位互 換用の語彙としてidentifierTypeに"ISSN"を設けるが、原則使用し ない。P-ISSNまたはE-ISSNの判別が困難な場合に限り使用する。	<jpcoar:sourceIdentifier identifierType="P-ISSN">1234-5678</jpcoar:sourceIdentifier> <jpcoar:sourceIdentifier identifierType="NCID">AN12345678</jpcoar:sourceIdentifier>	P-ISSN E-ISSN ISSN (非推奨) NCID	※新りたため編集の上、identifier	xml:lang属性は切り替える。	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①identifierType=issnが指定されてい る。				
25	Source Title	収録物名	jpcoar:sourceTitle		TRUE	MA	0-N	コンテンツの収録物のタイトルを記入する。	日本語雑誌名で和文、欧文コンテンツが存在する場合は、本文の語 彙に同じく雑誌名を表記することが望ましい。タイトルが敬称直前 ある場合は、要素を移り返して記入する。ただし、各言語コードの titleの出現回数は1回までとする。言語表記ごとの繰り返しする 場合は、優先度の高い言語表記の順に記入する。	<jpcoar:sourceTitle xml:lang="ja">看護総合科学研究会誌</jpcoar:sourceTitle> <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Journal of Comprehensive Nursing Research</jpcoar:sourceTitle>	収録物名の略称は推奨しない。 <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Annu Rev Biochem</jpcoar:sourceTitle>	※新りたため編集の上、identifier (jpcoar:sourceTitleが複数ある場合、 jpcoar:sourceTitleごとに繰り返し出 力)				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)		
26	Volume Number	巻	jpcoar:volume		FALSE	MA	0-1	収録物の巻レベルを記入する。単位を表す語句 (「巻」、「vol」、 「冊」、「冊」など) は記入しない。巻号と巻号の両者が存在する場 合は、巻号を採用する。	号または巻号のみをもつ場合は、省略しべしとし、jpcoar:volumeに 記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数 字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記 する。	<jpcoar:volume>1</jpcoar:volume>								①全角 -> 半角 (英数字記号「_」、「/」 のみ)	①1-32文字までのチェック。	
27	Issue Number	号	jpcoar:issue		FALSE	MA	0-1	収録物の号レベルを記入する。単位を表す語句 (「号」、「issue」な ど) は省略する。	号または巻号のみをもつ場合は、省略しべしとし、jpcoar:volumeに 記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数 字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記 する。号レベルより下位のレベルが存在する場合でも (例えば volume3、issue2、part1 等の場合)、その下位レベルについて は記入しない。	<jpcoar:issue>1</jpcoar:issue>								①全角 -> 半角 (英数字記号「_」、「/」 のみ)	①volumeがなく、issueがあるとき、 issueをvolumeに移動する。	
28	Number of Pages	ページ数	jpcoar:numPages		FALSE	MA	0-1	コンテンツの総ページ数を記入する。		<jpcoar:numPages>12</jpcoar:numPages>		※新りたため編集の上、identifier (jpcoar:sourceTitleが複数ある場合、 jpcoar:sourceTitleごとに繰り返し出 力)							①全角 -> 半角 (英数字記号「_」、「/」 のみ)	
29	Page Start	開始ページ	jpcoar:pageStart		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物における開始ページを記入する。開始ページと終 アページが同じ場合は、jpcoar:pageEndにも同様の値を記入する。巻 (volume) の巻ページと、号 (issue) ごとのページの両方が存在する 場合は、巻 (volume) の巻ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換す る。	<jpcoar:pageStart>1</jpcoar:pageStart>									①全角 -> 半角 (英数字記号「_」、「/」 のみ)	
30	Page End	終了ページ	jpcoar:pageEnd		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における終了ページを記入する。開始ページと終 アページが同じ場合は、jpcoar:pageStartと同様の値を記入する。巻 (volume) の巻ページと、号 (issue) ごとのページの両方が存在する 場合は、巻 (volume) の巻ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換す る。	<jpcoar:pageEnd>12</jpcoar:pageEnd>		identifier							①全角 -> 半角 (英数字記号「_」、「/」 のみ)	

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
31	Dissertation Number	学位授与番号	dndi:dissertationNumber		FALSE	MA	0-1	学位授与番号を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。学博士論文の場合は、学位記番号ではなく報告番号を記入する。	<dndi:dissertationNumber>甲第5384号</dndi:dissertationNumber>	科研費機関番号（数字5桁）+〔 甲>A 乙>B 他>Z 〕+報告番号の形式（junii2 ver.3.0）は推奨しない。 <dndi:dissertationNumber>15301A5384</dndi:dissertationNumber> 科研費機関番号（数字5 桁）+〔甲 乙 〕+第+報告番号+号の形式（junii2 ver.3.1）は推奨しない。 <dndi:dissertationNumber>15301甲第5384号</dndi:dissertationNumber>	description	xml:lang属性は切り捨てる。		①全角 -> 半角						
32	Degree Name	学位名	dndi:degreeName		TRUE	MA	0-N	学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。国際法道を除き、英語名称を合わせて記入することを推奨する。各言語コードのdndi:degreeNameの出現回数は1回までとする。	<dndi:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dndi:degreeName> <dndi:degreeName xml:lang="ja">博士（文学）</dndi:degreeName>		date		①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）				
33	Date Granted	学位授与年月日	dndi:dateGranted		FALSE	MA	0-1	学位授与年月日を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の 3 形式（YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY）で記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。	<dndi:dateGranted>2016-03-25</dndi:dateGranted>		-		①全角 -> 半角	①日付の正規化			①YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY形式であるかのチェック。 ②MM-DD の妥当性チェック。（暦年含む）			
34	Degree Grantor	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor		-	MA	0-N	学位授与機関の情報を記入する。	共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返しして記入する。	<jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>	共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantorに記入することは推奨しない。 <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">326532689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>	-									
34.1	Degree Grantor Name Identifier	学位授与機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が必須。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	description	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）				①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別を参照）		
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1															
34.2	Degree Grantor Name	学位授与機関名	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	0-N	学位授与機関の名称を記入する。学位授与機関名の言語情報はxml:langに記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>	-			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）				
35	Conference	会議記述	jpcoar:conference		-	R	0-N	会議情報を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conference> <jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName> <jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence> <jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDate="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue> <jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace> <jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry> </jpcoar:conference>	-										
35.1	Conference Name	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	0-N	会議名を記入する。	各言語コードのjpcoar:conferenceNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>	-			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）	①xml:lang が存在しない。			
35.2	Conference Sequence	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	0-1	会議の回数を記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence>	-										
35.3	Conference Sponsor	主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	0-N	会議を主催する機関名を記入する。	会議の開催会場はjpcoar:conferenceVenueに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceSponsorの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>	-			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）	①xml:lang が存在しない。			
35.4	Conference Date	開催期間	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	0-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日を年（YYYY）、月（MM）、日（DD）の形式で各属性に、表示用の開催期間を値に記入する。 機械可読可能な日付（属性）と表示用の開催期間（値）の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。	会議の開催が1日のみの場合は、属性のstartDateとendDayに同一の日を記入する。	<jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDate="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> または属性のいずれか1つのみの場合 <jpcoar:conferenceDate startDate="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016"/> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>				①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）						
			startDate	FALSE	MA	0-1															
			startMonth	FALSE	MA	0-1															
			startYear	FALSE	MA	0-1															
			endDay	FALSE	MA	0-1															
			endMonth	FALSE	MA	0-1															
			endYear	FALSE	MA	0-1															
35.5	Conference Venue	開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	0-N	会議が開催された会場を記入する。	会議の主催機関はjpcoar:conferenceSponsorに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>	-			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）				
35.6	Conference Place	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	0-N	会議の開催地を記入する。	会議の開催国はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>	-			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）				
35.7	Conference Country	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	0-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry>	-			①全角 -> 半角 ②英小文字 -> 英大文字			①ISO 3166-1 alpha-3形式になっていない。（語彙に存在しない）				
36	Edition	版	dndi:edition		TRUE	O	0-N	主に図書館資料の版に関する情報を記入する。	論文のバージョン情報についてはisolate:version（出版タイプ）、データのバージョン情報についてはdatacite:version（バージョン情報）を使用する。	一般書籍の例 <dndi:edition xml:lang="ja">改訂新版</dndi:edition> 和古書の例 <dndi:edition xml:lang="ja">富経野の一部を改刻した改題本</dndi:edition> 複製本の例 <dndi:edition xml:lang="ja">黒路34年序重刻本の複製</dndi:edition>	-			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）				
37	Volume Title	部編名	dndi:volumeTitle		TRUE	O	0-N	多巻ものの刊誌のタイトル(本タイトル)をdc:titleに記入した場合、各巻固有のタイトルはここに収める。 一つの逐次刊行物が部又は編に分かれて刊行される時、その部又は編に付けられた部編名もここに収める。 部編名等の入力も可能とする。 各巻固有のタイトル及びその他の関連する情報、又は逐次刊行物の部編名にヨミがある場合は、日本語のヨミは"ja-Kana"または"ja-Latin"を使用し、それぞれ片假名、ローマ字で記入する。また、ヨミを記入する場合はヨミとは別にxml:langを"ja"にした階層を必ず記入する。	最大出現回数は定めず、一つの情報要素が複数の情報を持つ場合は重複を繰り返して、それらを全て収める。 部編名の一部に書誌的番号を記述することを許容する。 各巻固有のタイトル、部編番号と、デジタル化した単位で付与された巻次・部編番号の記載が混在する可能性があるが、双方許容してよい。	<dndi:volumeTitle xml:lang="ja">近畿.△2 三巻・和歌山・大英・兵庫</dndi:volumeTitle> <dndi:volumeTitle xml:lang="ja-Kana">キンキ.△2 ミエワカヤマ オオサカ ヒョウゴ</dndi:volumeTitle>	-			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録になる）				

IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換時対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
38	Original Language	原文の言語	dc:dc:originalLanguage		FALSE	O	0-N	コンテンツ本文が翻訳・翻案等で原文がある場合、その原文で用いられている主な言語を記入する。 ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。 国コードを記入しない。 優先度の高い言語の順に記入する。 翻訳・翻案等が再翻訳・再翻案等である場合、直接の翻訳対象となった原文の言語を記入する。 本文とその翻訳が同時に収められている場合(対訳)は、両方の言語(原文の言語・翻訳)・原文の言語をdc:dc:originalLanguage (原文の言語) に記入する。 複製資料の場合は、複製の対象となった資料の言語ではなく、翻訳・翻案等に対する原文の言語を記入する。 例：以下の場合、Cがコンテンツ本文とすると、Cの原文の言語はAの言語である英語 (eng) となる。 C.複製資料 (Bを複製) : 日本語 (jpn) B.複製の対象となった資料 (Aを翻訳) : 日本語 (jpn) A.翻訳・翻案等に対する原文 : 英語 (eng)	コンテンツ本文の原文が英語 <dc:dc:originalLanguage>eng</dc:dc:originalLanguage> コンテンツ本文の原文が英語と日本語 <dc:dc:originalLanguage>eng</dc:dc:originalLanguage> <dc:dc:originalLanguage>jpn</dc:dc:originalLanguage> 対訳で原文が英語、翻訳・翻案等が日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:dc:originalLanguage>eng</dc:language> <dc:dc:originalLanguage>eng</dc:dc:originalLanguage> 国名を記入しない。 <dc:dc:originalLanguage>US</dc:dc:originalLanguage> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:dc:originalLanguage>en_US</dc:dc:originalLanguage>			①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換	①言語に存在しない。				
39	Extent	大きさ	dc:terms:extent		TRUE	O	0-N	情報源の大きさ、付属資料等の、形態に関する情報をリテラルに記入する。	デジタル化資料のメタデータ記述には、原資料の大きさと個別ファイルの容量の両方が存在する可能性がある。個別ファイルのサイズについてはサイズ (jpcoar:extent) に記入する。 物理的な記録形式については物理的形態 (jpcoar:format) に記入する。 付属資料を記載する際は「本体の記述△+△付属資料の記述」とする。	図表ありの場合 <dc:terms:extent xml:lang="ja">図表△;△19cm</dc:terms:extent> 1枚もの資料、横長の場合 <dc:terms:extent xml:lang="ja">1枚△;△92×172cm</dc:terms:extent> 付属資料(CD-ROM)ありの場合 <dc:terms:extent xml:lang="ja">22cm△+△CD-ROM1 枚 (12cm) </dc:terms:extent>				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
40	Physical Format	物理的形態	jpcoar:format		TRUE	O	0-N	情報源の物理的な記録形式をリテラルに記入する。 コンテンツの大きさや付属資料等は、大きさ (dc:terms:extent) を使用する。 コンテンツのファイル形式はjpcoar:mimeType (ファイル形式) を使用する。		<dc:terms:format>折本</dc:terms:format> <dc:terms:format>書籍</dc:terms:format> <dc:terms:format>転入</dc:terms:format>				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
41	Holding Agent	所属機関	jpcoar:holdingAgent		-	O	0-1	当該情報源または原本を保有する所属機関を記入する。		<jpcoar:holdingAgent> <jpcoar:holdingAgentNameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:holdingAgentNameIdentifier> <jpcoar:holdingAgentName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingAgentName> </jpcoar:holdingAgent>									
41.1	Holding Agent Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:holdingAgentNameIdentifier		FALSE	O	0-1	所属機関を一意的に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する(例: 000000012192178X (ISNI)、 https://ror.org/057zh3y96 (ROR))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi [非推奨] - ISNI - Ringgold - GRID [非推奨] - ROR - FAND - ISIL - MARC - OCLC。nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式(例: https://isni.org/isni/0000000121691048 (ISNI) https://ror.org/057zh3y96 (ROR)) で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない。	jpcoar:holdingAgentNameIdentifierの場合は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:holdingAgentNameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:holdingAgentNameIdentifier nameIdentifierScheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:holdingAgentNameIdentifier>	kakenhi (非推奨) ISNI Ringgold GRID (非推奨) ROR FAND ISIL MARC OCLC			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別参照)				
			nameIdentifierScheme		FALSE	M	1						①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①nameIdentifierScheme="kakenhi"GRIDが指定されている。			
			nameIdentifierURI		FALSE	O	0-1									①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別参照)			
41.2	Holding Agent Name	所属機関名	jpcoar:holdingAgentName		TRUE	O	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。 本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:holdingAgentNameの出現回数は1回までとする。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部門名など下位階層の情報は記入しない。所属機関名が複数言語である場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:holdingAgentNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:holdingAgentName xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingAgentName>				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
42	Dataset Series	データセットシリーズ	jpcoar:datasetSeries		FALSE	O	0-1	共通の特徴を有するデータセットの集合体である場合にTrueを設定する。データセットシリーズに属するアイテムからデータセットシリーズにリンクする場合はjpcoar:relation (関連情報) のrelationType="inSeries"を用いる。データセットシリーズからデータセットシリーズに属するアイテムにリンクする場合はjpcoar:relation (関連情報) のrelationType="hasPart"を用いる。	データセットとはデータの集合体を意味するが、デジタルアーカイブ等で見られる単一のデータについてもデータセットとみなし、その共通的特徴を有する集合体を表現するものとしてデータセットシリーズを使用できる。	<jpcoar:datasetSeries>True</jpcoar:datasetSeries>	True False			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①語彙に存在しない。			
43	File	ファイル情報	jpcoar:file		-	MA	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar-files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:extent>15 pages</jpcoar:extent> <datecite:date dateType="Issued">2015-10-01</datecite:date> </jpcoar:file> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="other" label="supplemental data"> >http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <datecite:date dateType="Created">2016-01-01</datecite:date> <datecite:version>1.2</datecite:version> </jpcoar:file>									
43.1	URI	本文URL	jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1					identifier			①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	
			objectType		FALSE	MA	0-1	コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。 objectTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - abstract - dataset - summary - fulltext - software - thumbnail - other 論文には、ファイルの内容や権限等を簡明に記入する。	objectTypeはURIがある場合は必須。博士論文の場合、要約はsummary、要旨はabstractを使用する。 論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar-files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:URI objectType="dataset" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx.xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI>	abstract - 抄録・要旨 dataset - データセット fulltext - 全文 software - ソフトウェア summary - 要約 thumbnail - サムネイル other - その他			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①語彙に存在しない。				
			label		FALSE	O	0-1												
43.2	File Format	ファイルフォーマット	jpcoar:mimeType		FALSE	R	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANAに登録されているMIMEメディアタイプから選択することを推奨する。	コンテンツの種類はdc:type (資源タイプ) を使用する。コンテンツの分類はjpcoar:extent (サイズ) を使用する。	<jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType>	MIMEメディアタイプ以外の形式で記入してはならない。 <jpcoar:mimeType>pdf</jpcoar:mimeType>	format		①全角 -> 半角		①MIME Typeの形式チェック (英数字、"-",".","+","_","/"のみ。先頭と末尾以外に1つ以上の"/"。)			
43.3	Size	サイズ	jpcoar:extent		FALSE	O	0-N	ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。自由記述。但し数値はアラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart (開始ページ)、終了ページはjpcoar:pageEnd (終了ページ) を利用する。	<jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent>									
43.4	Date	日付	datecite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formats で規定する形式 (YYYY, YYYY-MM, YYYY-MM-DD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssTZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssTZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ) で記入し、日付の範囲はRKMSP-ISO8601で規定する形式で記入する。dateTypeは以下の統制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	コンテンツの開始日dc:type (資源タイプ) を使用する。コンテンツの分類はjpcoar:extent (サイズ) を使用する。	発行日 <datecite:date dateType="Issued">2015-10-01</datecite:date> エンベロー終了後の利用開始日 <datecite:date dateType="Available">2016-01-01</datecite:date> 日付の範囲がある場合 <datecite:date dateType="Collected">2004-03-02/2005-06-02</datecite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datecite:date>2015-10-01</datecite:date> 利用開始日 <datecite:date dateType="Issued">19--</datecite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①日付の正規化			
			dateType		FALSE	M	1											①と②のいずれかを満たさないものはエラーになる。 ①[0-9]+-[0-9]+の形式 (〔数字〕[セリフ]日[数字]) ②[0-9]+の形式 (〔数字〕のみ)	
43.5	Version	バージョン情報	datecite:version		FALSE	O	0-1	データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に旧バージョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のバージョン情報についてはdatecite:version (バージョン情報) またはdc:version (出版タイプ) を使用する。		<datecite:version>1.2</datecite:version>				①全角 -> 半角					

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧